

# 地 域 再 生 計 画

## 1 地域再生計画の名称

西蝦夷300年新交流時代の創造

## 2 地域再生計画の作成主体の名称

北海道及び留萌市並びに北海道増毛郡増毛町、留萌郡小平町、苫前郡苫前町、羽幌町及び初山別村並びに天塩郡遠別町及び天塩町

## 3 地域再生計画の区域

留萌市並びに北海道増毛郡増毛町、留萌郡小平町、苫前郡苫前町、羽幌町及び初山別村並びに天塩郡遠別町及び天塩町の全域

## 4 地域再生計画の目標

### 4-1 地方創生の実現における構造的な課題

留萌管内の交流人口を増加させるためには、広域観光ルートを設定した上で、ターゲット（場所、趣味、年代等）を明確にして効果的に売り込むほか、他地域にはない留萌独特の観光商品やサービスの開発、好調なインバウンドを管内に誘導するための対策が必要となるが、管内の観光資源は広く薄く点在していることから、市町村間の連携・協働をいかに進めるかが重要なポイントとなる。

### 4-2 地方創生として目指す将来像

北海道全体としては、ここ数年、アジアを中心とした外国人観光客が大幅に増加しているが、留萌管内の観光入込客数は140万人前後で頭打ちの状況にあり、外国人宿泊者についても年間416名(平成27年度)にとどまっている。

当管内の地域創生を図っていくためには、交流人口の拡大が必須の課題であり、その突破口として、十分に誘客が図られていない道内客や今後も大きな伸びが期待される本道への外国人観光客の取込を図ることが求められている。

そこで、北海道留萌振興局では平成28年度、管内観光関係者等による「西蝦夷再興協議会」を設立し、テーマやストーリー性を重視した広域観光ルートの設定やガイドブックの作成を行ったほか、「地域版DMOのあり方」について検討を行った。

## 【数値目標】

	事業開始前 (現時点)	平成29年度 増加分 (1年目)	平成30年度 増加分 (2年目)	平成31年度 増加分 (3年目)	KPI増加分 の累計
管内観光 入込客数	1,414,000人	12,000人	12,000人	12,000人	36,000人

## 5 地域再生を図るために行う事業

### 5-1 全体の概要

地域版 DMO の設立に向けた検討、設立、組織展開による広域観光や課題解決に資するプロジェクトを実施するなど、地域版 DMO としての役割を果たす力を強化していく取組を実施する。

### 5-2 第5章の特別の措置を適用して行う事業

地方創生推進交付金（内閣府）：【A3007】

- ① 事業主体：北海道及び留萌市並びに北海道増毛郡増毛町、留萌郡小平町、苫前郡苫前町、羽幌町及び初山別村並びに天塩郡遠別町及び天塩町
- ② 事業の名称：西蝦夷300年新交流時代創造事業<Step 2>
- ③ 事業の内容

市町村間の連携・協働を進めるためには、地域を思う人材がともに連携し、地域資源を活かし、地域を元気にするなど、共通の将来ビジョンを有し、関連事業を推進するプラットフォームの形成が必要不可欠であることから、「地域版 DMO のあり方」の具体化に向けて、地域版 DMO の準備組織づくりを進め、DMO に対する関係者の理解の深化を図るとともに、当該組織による広域観光や課題解決に資するプロジェクトを実施し、DMO として安定的な運営を行うノウハウを身につける等、地域版 DMO としての役割を果たす力を強化していく取組を実施する。

- ④ 事業が先導的であると認められる理由

#### 【自立性】

留萌振興局と協定締結した金融機関や民間企業が有する人的・経済的資源やネットワーク、助成制度等を活用しながら、地域版 DMO による地域が稼ぐためのマネジメント、マーケティングや観光資源のブランド化等により地域の収益力をアップさせ、会員企業の会費等の増額を図る。

#### 【官民協働】

地域版 DMO 設立に向け官民が連携し、地域の様々な企業や団体を

観光地経営に巻き込ことで、地域における連携・協働に対する理解促進と気運醸成を進め、地域版DMOの形成・確立を図る。

**【政策間連携】**

交流人口の拡大に向けた環境づくりに当たっては、地域の多様性を活かした地域振興施策を実施し、食と観光の連携による食品輸出や観光投資の促進による地域活性化を諮るとともに、地域版DMOに向けた協議会の設立や運営にあたっては、企業や金融機関との連携施策である包括連携協定を最大限活用する。

**【地域間連携】**

振興局及び管内全市町村が連携・協働することに加え、約200万人の人口を有する札幌市との連携により、事業効果を最大限高める。

**【その他の先導性】**

漠然と管内をPRするのではなく、かつて日本海交易の要衝として栄えた歴史をもつ管内の魅力を再生し、「西蝦夷」というキーワードを活用しながら、歴史や文化などを絡めた上で様々な魅力的なテーマやストーリー性をもたせることで、ターゲットを明確にしながら幅広い層に売り込みをかけている。

また、地域住民に地元の歴史や魅力を知ってもらい、地元への誇りをもっていただくことで地域の活性化に繋げつつ、観光客受け入れへの機運を高めていく。

**⑤ 重要業績評価指標（KPI）及び目標年月**

**【数値目標】**

	事業開始前 (現時点)	平成29年度 増加分 (1年目)	平成30年度 増加分 (2年目)	平成31年度 増加分 (3年目)	KPI増加分 の累計
管内観光 入込客数	1,414,000人	12,000人	12,000人	12,000人	36,000人

**⑥ 評価の方法、時期及び体制**

**【検証方法】**

北海道留萌振興局：留萌地域づくり連携会議、留萌市：留萌市地方創生協議会、増毛町：総合戦略町民会議、小平町：小平町施策評価第3者委員会、苫前町：検証組織を設置予定、羽幌町：検証組織を設置予定、初山別村：検証組織を設置予定、遠別町：遠別町地方創生推進協議会、天塩町：天塩町地方創生評価委員会 において、それぞれ評価・検証。

### 【外部組織の参画者】

北海道留萌振興局：管内市町村長、外部有識者、民間団体関係者等

留萌市：産、官、学、金、労、言、市民代表

増毛町：産、官、学、金、労、言、民間企業代表者、町民代表者

小平町：産、官、学、金、労、言

苫前町：議員、産業団体、青年団体、高齢者団体、女性団体、文化団体、金融機関など（予定）

羽幌町：観光協会、商工会、金融機関など（予定）

初山別村：産、官、学、金、地域おこし協力隊など（予定）

遠別町：産、官、学、金、福祉団体、町内会団体

天塩町：観光団体、農林水産業団体、商工業団体、学識経験者など

### 【検証結果の公表の方法】

ホームページや広報誌などにより公表

#### ⑦ 交付対象事業に要する経費

・法第5条第4項第1号イに関する事業【A3007】

総事業費 42,263千円

#### ⑧ 事業実施期間

地域再生計画認定の日から平成32年3月31日（3ヵ年度）

#### ⑨ その他必要な事項

特になし

### 5-3 その他の事業

#### 5-3-1 地域再生基本方針に基づく支援措置

該当なし

#### 5-3-2 支援措置によらない独自の取組

(1) るもい地域戦略的魅力創造発信事業（振興局独自事業）

事業概要：観光客受入基盤の強化のため人材育成や地域の観光資源を活用したモニターツアーの実施のほか、札幌市や旭川市など都市圏から人を呼び込むための戦略的なPRを行う。

実施主体：北海道留萌振興局

事業期間：平成28年度～平成31年度

## 6 計画期間

地域再生計画認定の日から平成32年3月31日

## 7 目標の達成状況に係る評価に関する事項

### 7-1 目標の達成状況にかかる評価の手法

#### 【検証方法】

地方創生推進会議などにより評価・検証

#### 【外部組織の参画者】

学識経験者や産業団体、民間団体などが参画

### 7-2 目標の達成状況にかかる評価の時期及び評価を行う内容

	事業開始前 (現時点)	平成29年度 増加分 (1年目)	平成30年度 増加分 (2年目)	平成31年度 増加分 (3年目)	KPI増加分 の累計
管内観光 入込客数	1,414,000人	12,000人	12,000人	12,000人	36,000人

### 7-3 目標の達成状況にかかる評価の公表の手法

ホームページや広報誌などにより公表する。